



旅する公務員

第 1 2 弾

埼玉県 横瀬町

建設課 佐藤 圭汰

「旅する公務員」の目的

◆「A面」的目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化により
テレワーク環境が整ったことから
磐梯町と交流のある自治体に職員を派遣し
実際に旅をしながらテレワークをすることで生じる問題を顕在化させ
ひとつひとつ障壁を解消していく。



◆「B面」的目的

自治体間の交流を推進し
互いの先進事例を共有することにより
地域課題の解決を図る。



◆「ボーナストラック」的目的

先方自治体の職員の方ばかりではなく
関係者や団体の方々
により住民の方々と
昼夜分かたず楽しく交流し お友達になる。

「旅する公務員」 第12弾の概要

旅した期間 2023年10月2日（月）～2023年10月6日（金）

旅した職員 建設課建設係 主事 佐藤 圭汰

旅した場所 埼玉県 横瀬町（建設課）

1日目

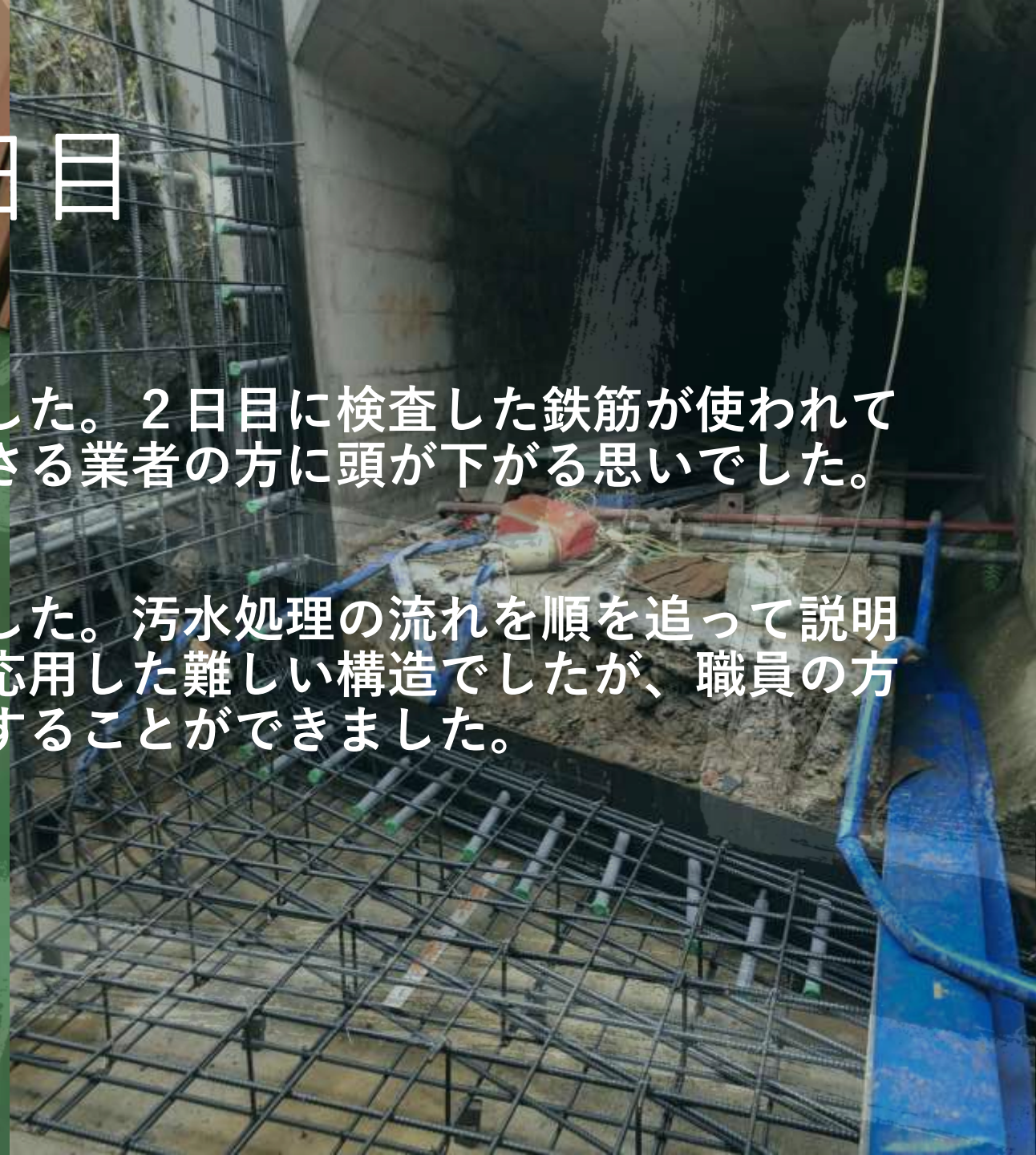
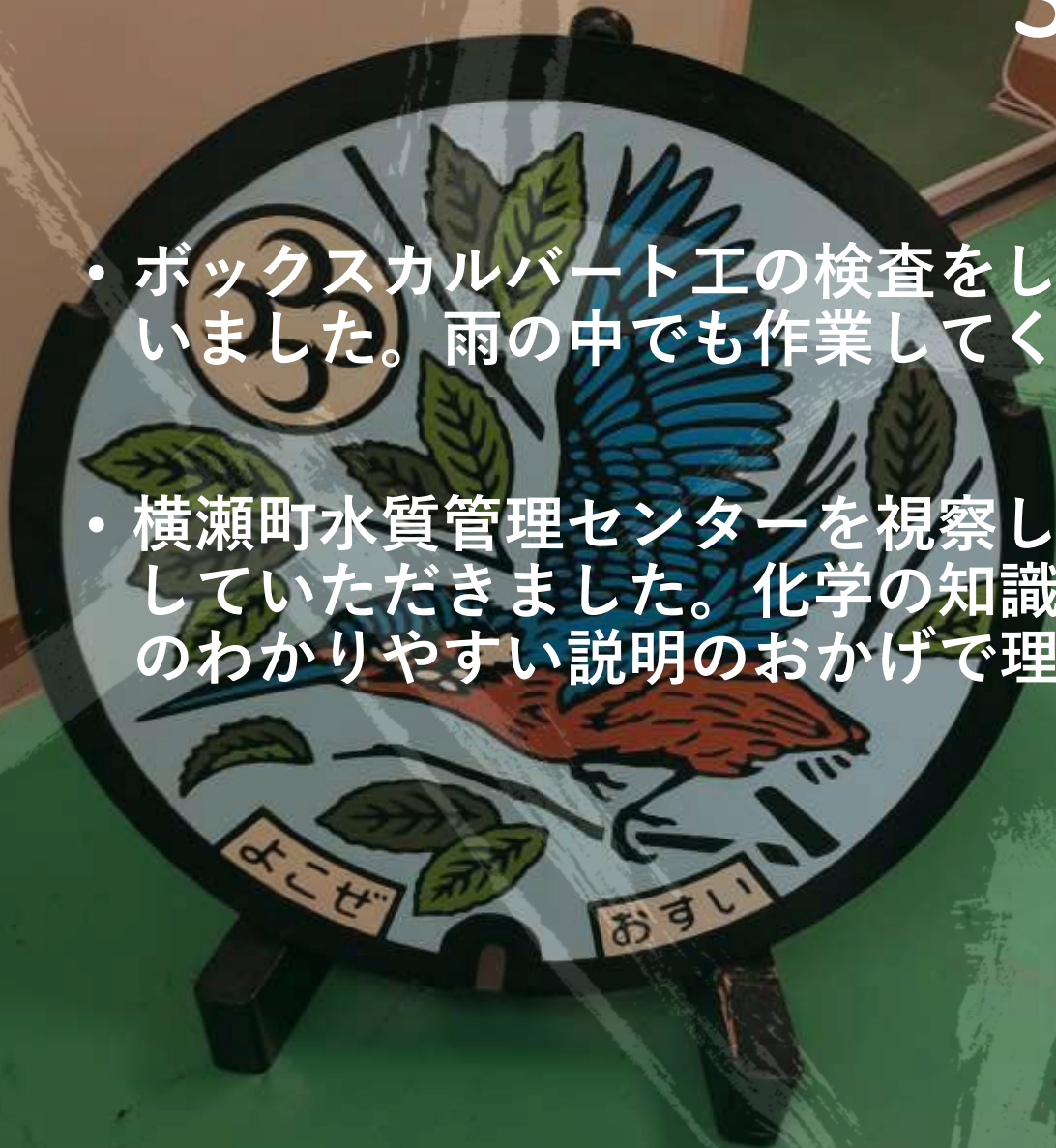
- 大宮駅で遅延がありましたが、無事に横瀬駅に到着しました。アニメのモデルになった駅を見られて感動しました。帰ってすぐにアニメを見返しました。
- 町長や副町長、各課のみなさんにあいさつをしました。私が気の利いた一言を言えず、建設課長さんに気を遣わせてしまいましたが、どの課の方も暖かく迎えてくれました。
- まち経営課の方と町内を見学しました。わかりやすい説明のおかげで横瀬町の魅力を感じることができました。特に花咲山公園にある展望台とベンチ（官民共同プロジェクトで武蔵野美術大学が作成）が近代的で記憶に残りました。

2日目

- ボックスカルバート工の鉄筋の材料検査を行いました。工事経過写真にした時にもわかりやすいよう、画角を意識して写真を撮っていました。
- 豪雨で崩落した法面の現場確認をしました。1日目に庁舎内で打ち合わせした内容を、業者の方と現場で再確認しました。
- セメント工場と武甲山登山道を見学しました。県外ナンバーの車が多く、老若男女問わずたくさんの方が訪れていました。横瀬町は熊谷ナンバーでした。

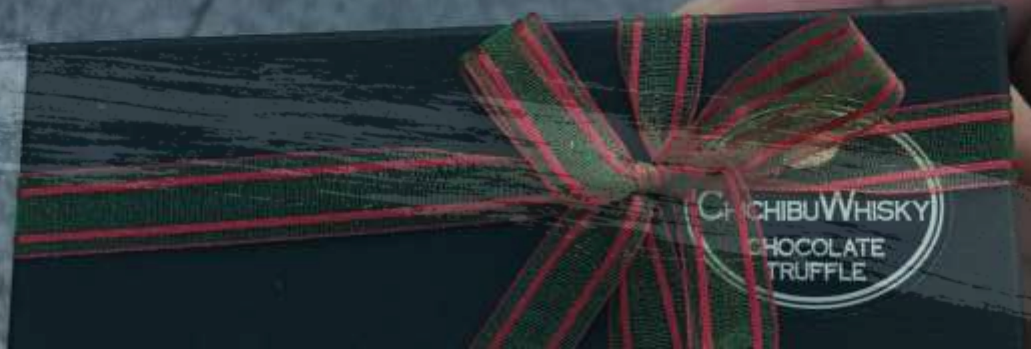
3日目

- ボックスカルバート工の検査をしました。2日目に検査した鉄筋が使われていました。雨の中でも作業してくださる業者の方に頭が下がる思いでした。
- 横瀬町水質管理センターを視察しました。汚水処理の流れを順を追って説明していただきました。化学の知識を応用した難しい構造でしたが、職員の方のわかりやすい説明のおかげで理解することができました。



4日目

- 秩父広域市町村圏組合水道局横瀬事務所を見学しました。磐梯町同様、横瀬町の水もおいしいと有名だそうです。
- 横瀬小学校を案内していただきました。新校舎は光が差し込む明るい印象、旧校舎はどっしりとしていて歴史と伝統を感じる印象でした。
- 道の駅果樹公園あしがくぼを訪問しました。特産品である横瀬の紅茶やウイスキーを使った商品が多く並べられていました。車はもちろん、ツーリングの方も多いそうです。



5 日 目

- 町道に死んでいた動物を焼却施設に運びました。磐梯町では町民課が担当していますが、横瀬町では建設課が担当しています。
- 町長とまち経営課長さんにあいさつをし、横瀬町を出発しました。お別れするのが寂しくなっていました。
- 帰りは連休前ということもあり、新幹線が混雑していました。強風のため遅延がありましたが、無事に帰ることができました。

「A面」的 目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化によりテレワーク環境が整ったことから磐梯町と交流のある自治体に職員を派遣し実際に旅をしながらテレワークをすることで生じる問題を顕在化させひとつひとつ障壁を解消していく。



できなくはないが現時点では効率が悪すぎるためしない方がいい

理由

- 1、必要な文書を見られない
- 2、使いたいソフトが入ったパソコンを持ち出せない（物理的に）
- 3、電話に出られない
- 4、来客対応できない
- 5、現場を確認しに行けない
- 6、できないと思い込んで改善しようとししない

解決策（現実的かは別として）

- 1、テレワークに必要な文書を事前にデータ化してからテレワークしに行く
紙文書を全てデータ化する（過去、現在、未来）
- 2、業務担当者のパソコンにソフトをインストールする
- 3、仕事用の携帯電話を導入する
- 4、窓口にリモート会議ができるパソコンを置いておく
- 5、県発注工事ではリモートでの現場確認を実施しているものもある
- 6、できる方法を考えていきましょう！

「B面」的目的

自治体間の交流を推進し互いの先進事例を共有することにより地域課題の解決を図る。



たくさん共有できた！

共有できたこと

- 他の人の予定がわからない
→グループウェアを導入していて、スケジュール管理や文書の回覧をしている
- 誰がどこにいるのかわからない
→外出時に行き先をホワイトボードに書いて共有している
- メモ書きにふせんを使っているが、紙がもったいない気がする
→ふせんの代わりに電子黒板を使っている
- 落札した会社によって契約書の内容が違う
→工事の契約書作成はまち経営課が担当している
- 突発的な現場作業が多く、その分残業が増えている
→舗装修繕や草刈り等の現場作業は、委託契約をしている作業員が行っている

最後に

横瀬町に滞在した数週間後、福島県内にある公共団体の新規採用職員が集まる研修に参加しました。その研修の中の「DXの基礎」という講義で、磐梯町の「旅する公務員」がDX先進事例として紹介されました。今は先進事例かもしれませんが、数年後にはスタンダードになっていればいいなと思いました。

横瀬町職員はとても気遣いができる方々でした。話しかけてくださったり、現場や公共施設、食事につれていったりしてくださいました。おかげでみなさんと仲良くなれました。本当に楽しい5日間でした。

同年代の職員も多く、戦力として活躍している姿を見て、自分も頑張らなくてはいけないという気持ちになりました。

遠く離れた横瀬町で仕事をしたことは貴重な経験になりました。1年目からこのような機会をいただき、感謝しています。ありがとうございました。

12月には秩父夜祭りにも行きたいです！1月末には氷柱も見たいです！横瀬町役場のみなさん、その時はよろしくお願いします！

